

ルール比較表

サッカーの競技規則(ルール)は国際サッカー評議会によって、フットサル、ビーチサッカーの競技規則は、国際サッカー連盟(FIFA)によって定められ、世界の各国サッカー協会で行われる3つの競技はすべて、この競技規則を基本的にプレーされています。それぞれの違いを比較してみましょう。

■大まかなルールの違い

項目	フットサル	サッカー	ビーチサッカー
ピッチの大きさ(標準)	20m×40m	68m×105m	28m×37m
ピッチの表面(標準)	木、人工材質	芝/人工芝/ハイブリット芝	深さ40cmの砂
ゴール	2m×3m	2.44m×7.32m	2.2m×5.5m
ボール	4号球でローバウンド	5号球(13歳以下は4号球)	ビーチサッカー用5号球
シューズ	体育館用シューズ	スパイク	はだし(サポーター着用可。ただし、かかととつま先は出さなければならない)
選手の数	5人	11人	5人
交代	9人	最大登録12人のうち5人まで(トップリーグは3人まで)	7人
交代の方法	自由(交代ゾーンを用いて)	アウトオブプレーのとき、審判の承認を得て3人まで	自由(交代ゾーンを用いて)
審判	主審、第2審判、第3審判、タイムキーパー	主審、副審、第4の審判員	主審、第2審判、第3審判、タイムキーパー
試合時間	20分ハーフ	45分ハーフ	12分間のピリオド×3回
時間の計測方法	プレーイングタイム	ランニングタイム	得点后、FKやPK時、審判員が停止のシグナルをしたとき以外ランニングタイム
	(タイムキーパーが計測)	(主審が計測)	(タイムキーパーが計測)
キックオフ	前方に蹴る	ボールをどの方向に蹴ってもよい	前方または空中に蹴る
タイムアウト	前後半それぞれ1回(1分間)とることができる	なし	なし
ボールが出たら	・タッチラインから	キックイン	スローイン
	・ゴールラインから	ゴールクリアランス/コーナーキック	ゴールキック/コーナーキック
オフサイド	なし	2人の守備側競技者がいない場合	なし
直接FKとなる反則	ファウルタックル、キッキング、プッシング、ホールディング、ハンドなど	ファウルタックル、キッキング、プッシング、ホールディング、ハンドなど	すべての反則に直接FKが与えられる
間接FKとなる反則	ゴールキーパーへのリターンパス、キックイン・フリーキック・コーナーキックを4秒以内に行わないなど	オフサイドやゴールキーパーがボールを一度放した後にもう一度手で扱うなど	なし
反則の累積	直接FKに値する反則は累積され(アドバンテージを適用しても)、6つ目の反則からは第2ペナルティーマークなどからの壁なしのFK	反則は、累積されない	反則は、累積されない
退場後の措置	2分経過後や得点された後に交代要員から補充できる	補充できない	2分経過後や得点された後に交代要員から補充できる
PK方式	両チーム3人ずつキックを行う。同点の場合は1人ずつ行い、どちらかのチームが多く得点するまで続ける	両チーム5人ずつキックを行う。同点の場合は1人ずつ行い、どちらかのチームが多く得点するまで続ける	両チーム3人ずつキックを行う。同点の場合は1人ずつ行い、どちらかのチームが多く得点するまで続ける

日本サッカー協会サッカー競技規則、フットサル競技規則、ビーチサッカー競技規則を参照